

全国大会が京都で開催されます

2019年度の全国大会が、2019年8月24日（土）～25日（日）に京都にて行われます。昨年度より近畿ブロック全府県合同の実行委員会を設置して、準備を進めています。メイン会場は、メルパルク京都（JR京都駅から徒歩2分）です。日帰りでのご参加も可能ですので、ぜひご参加ください。

◆ 全国大会とは？ ◆

内閣府、地方公共団体等の行う青少年国際交流事業の既参加青年が集まり、地域における事後活動の推進状況を報告するとともに、全国的な事後活動を更に充実させるための方策について積極的に意見交換を行い、既参加青年相互の交流と研さんを図り、今後の国際交流活動及び地域社会における諸活動の推進に貢献するとともに、国際交流活動を一般の方にも紹介していくことを目的とします。

「東南アジア青年の船」事業 地方プログラム受入決定

2019年10月26日（土）～29日（火）に、「東南アジア青年の船」事業の地方プログラムを大阪府で受け入れます。実行委員を募集していますので、ご興味のある方・ご協力いただける方は、ぜひ大阪府青年国際交流機構までご連絡下さい。

◆ ホストファミリー 募集！！ ◆

受入期間中の2019年10月26日（土）昼～27日（日）夕方は、ホームステイプログラムとなる予定です。1家庭につき2名の青年を基本とし、大阪府下において15家庭程にホストファミリーのご協力をお願いします。受入実行委員やホストファミリーについては、大阪府IYEOのメーリングリストにて募集のご案内を改めて行いますが、ご応募・お問い合わせは大阪府青年国際交流機構にて随時受け付けております。



facebookの「大阪IYEO」のページに、ぜひ「いいね！」をお願いします。活動報告などがご覧いただけます。

近畿ブロック大会を大阪府で開催しました

2018年11月3日（土）～4日（日）、大阪府茨木市にて『大阪の過去・現在・未来～万博を通してサステナブル・シティを考える～』を大会テーマとして近畿ブロック大会を開催しました。「博覧都市大阪 1970年万博から2025年国際博に向けて」との内容で大阪府特別顧問／大阪市特別顧問橋爪紳也氏にご講演いただき、56名の方にご参加いただきました。



「世界青年の船」事業 地方プログラムを受入ました

2019年1月17日（木）～20日（日）に、明治150年記念「世界青年の船」事業の地方プログラムを大阪府で受け入れ、オーストラリア連邦12名とタンザニア連合共和国11名の青年が来阪しました。

2019年度 活動予定

2019年度、大阪府青年国際交流機構では、京都で全国大会、「東南アジア青年の船」事業の地方プログラム受入等、活動予定が盛りだくさんです。

2019年 4月	9日 2019年度内閣府青年国際交流事業 大阪府選考
5月	14日 二次選考アドバイス会 下旬 「東南アジア青年の船」事業 受入実行委員会立ち上げ
6月	9日 総会 22日 役員研修 22日 事前研修アドバイス会（育成・日韓・日中・コア）
7月	中旬 事前研修アドバイス会（東亜船）
8月	24-25日 全国大会（京都府）
9月	上旬 壮行会（育成・日韓） 上旬 事前研修アドバイス会（世界船）
10月	上旬 壮行会（日中・東亜船） 26-29日 「東南アジア青年の船」事業 地方プログラム受入
11月	上旬 帰国報告会（育成・日韓）・壮行会（コア）
12月	上旬 忘年会・帰国報告会（日中）・壮行会（世界船）
2020年 1月	中旬 新年会・帰国報告会（コア・東亜船）
2月	上旬 2020年度内閣府青年国際交流事業 募集開始 下旬 事業説明会
3月	中旬 帰国報告会（世界船） 中旬 2020年度内閣府青年国際交流事業 大阪府募集締切
時期未定	●「ワン・ワールド・フェスティバル」へのブース出展（パネル展示） ●クッキングコミュニケーション

全国大会（京都府）実行委員会

「東南アジア青年の船」事業受入実行委員会

会費納入のお願い

現在、大阪府IYEOは約430名の会員数になっております。うち、日頃の活動に参加いただいている皆様は1割程度です。受入活動等の事業参加は、難しい方もいらっしゃると思いますが、ぜひ時間をつくって活動現場にもいらして下さい。また、国際交流活動を支える大切な財源の会費の納入にも、ご協力をお願いいたします。

年会費：3,000円 振込先：ゆうちょ銀行 14170-93715661

「大阪青年国際交流機構（オオサカセイネンコクサイコウリュウキコウ）」

※他行からの振込の場合

【店名】四一八（ヨンイチハチ）支店 【預金種目】普通預金 【口座番号】9371566

2018年度派遣青年に聞いてみました！！

2018年度、大阪府推薦8名・追加募集2名(計10名)が大阪より内閣府青年国際交流事業に参加されました。そこで、3名の方に4つの質問をしてみました。

事業に参加して、 Q1: 驚いた事は? Q2: つらかった事は? Q3: 勉強になった事は?
Q4: 経験を生かして、これから何をしたい?

「日本・韓国青年親善交流」事業参加 山口 佐智子さん



- A1: 大学学生食堂でも地方のお店でも、どこに行っても食事にスープとキムチがついてくる事です。スプーンでご飯をすくってスープに少し浸して食べるのが美味しいよと、韓国青年から食べ方を教えてもらいました。
- A2: 韓国語がもっと上手だったら、韓国青年やホームステイの時にもスムーズに交流でき、より親しくなれたのかなと思います。伝えたいのに伝えられない事に対して、歯がゆさを感じる事が多かったです。
- A3: 自分が持っていた韓国のイメージは、ニュースやSNSから構築されていたと気づいた事です。韓国の大学には日本語学科が多い事、両性平等の考えやそれに対する対策など、メディアでは伝えられていない韓国を知る事が出来ました。
- A4: 韓国青年やホームステイ先の家族との交流を続けていきたいです。日本と近い部分もありますが、違う部分も今回の派遣で知る事が出来ました。今回の派遣で得た知識や体験を多くの人に伝え、韓国により興味を持ってもらえたらと思います。

地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」 平林 知代さん



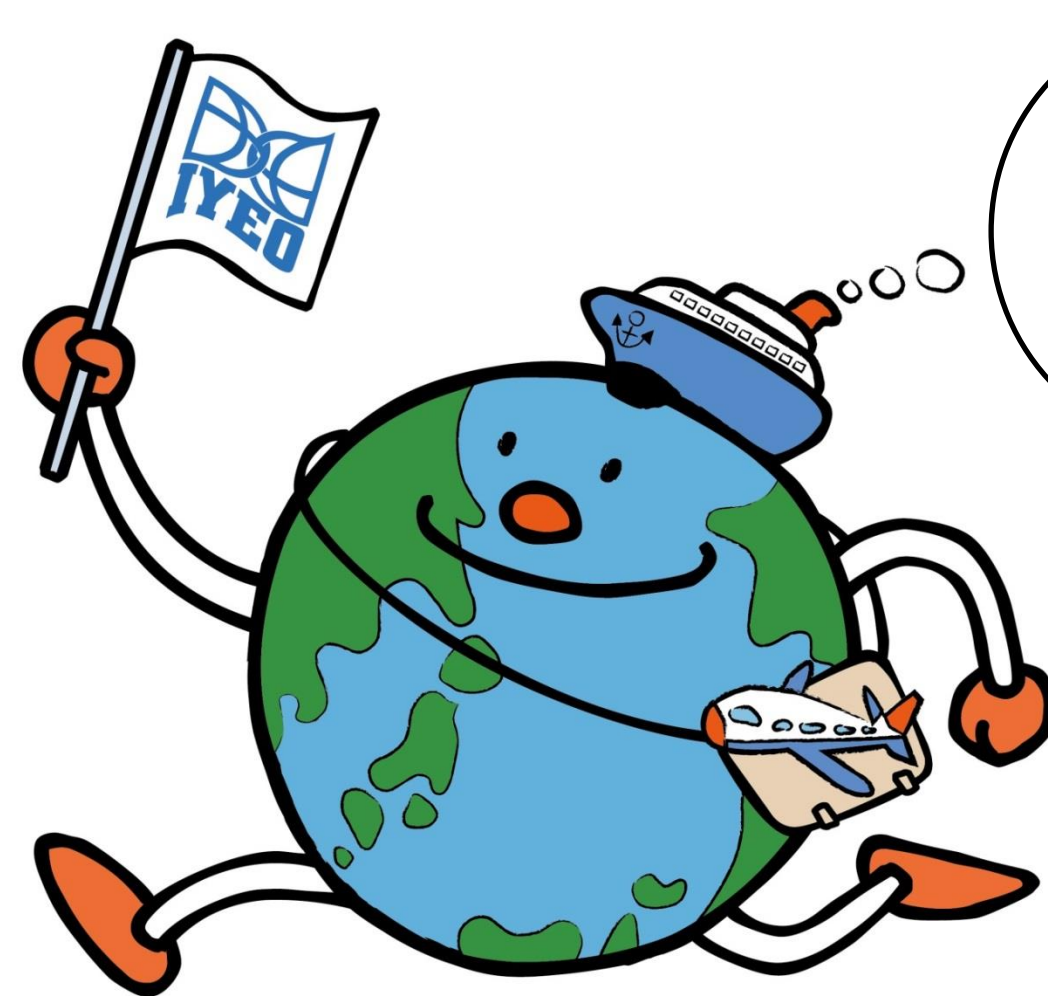
- A1: ドイツと日本での「高齢者」という言葉の概念の違い。ドイツでは「高齢者」という言葉にとらわれず、どう老いるかは様々な要因が影響するため、どう歳を積み重ねるかで違うという事が啓発されている。そして、多くの高齢者の方々が地域貢献に関わっておられた事。
- A2: 基本的にはありません。勿論、派遣前には派遣に向けた準備、派遣後は学んだ事を自分に落とし込む作業等を繰り返し行いますが、それだけする必要のある、内容の濃いプログラムだと感じた。
- A3: 日本およびドイツの青年とディスカッションを繰り返す事で、高齢者が抱える問題を多様な視点からとらえる事ができた。また、分野を超え青少年分野や障害者分野の方とのディスカッションを通し、高齢者がどのように地域参加していくことが重要か学ぶ事ができた。
- A4: 高齢者が孤立しないよう、多世代で交流できる居場所作りや、高齢者という言葉にとらわれない、アクティブシニアで居続けるポイントなどの啓発運動を実施していきたい。また、自分が関わる人々が、いつでも自分で意思決定できるような情報提供を行っていきたい。

「世界青年の船」事業参加 田中 寛子さん



- A1: 参加青年の経験や知識に驚きました。年齢に全く関係なく、それぞれとても面白い経験をしていて、日本を含め世界の情勢に対しても、沢山の知識を持っていました。彼らの話を聞くだけでも大きな刺激になりました。
- A2: 自分の英語力です。英語に対してそれほど苦手意識はなかったものの、ディスカッション等で話す英語は自分にとって難しく、悔しい思いをしました。同時に、その思いが今、英語を学習する強いエネルギーになっています。
- A3: 沢山ありますが、一つは自然の広大さ・美しさです。広い海の真ん中の小さな船に、240人が集まり共に時を過ごしている。この瞬間を、この場所で、共有出来ていること自体が奇跡で、その繋がりはこれからも大切にしたいと思いました。
- A4: 国際協力の面に進みたいと思っています。参加青年やファシリテーター、今は相談に乗ってくれる人が、周りに沢山います。良い意味で頼りあい、世界の輪を広げたいです。

MIOTSUKUSHI



漣標

みおつくし

No.96

大阪府青年国際交流機構
会長 岩井 美紀江

2019年5月7日発行

IYEO マスコットキャラクター
「ランナス」

2019年度 総会

2019年度 大阪府青年国際交流機構の総会を下記の通り開催します。

日時: 2019年6月9日(日) 19時~21時
場所: siltas (シルタス) 10階 - A教室

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル10階
https://siltas.jp/room/room_traffic.php

【お問い合わせ】

大阪府青年国際交流機構 (大阪府 IYEO) osakaiyeo@gmail.com までお願いします。